

# ふるさと納税 拡充のための調整は

原 裕司 議員



自治体情報や返礼品レシピ 掲載を検討  
総務部長



▲ふるさと納税、検索サイト

**問** 令和元年度12月末時点の寄附申し込み状況は、

**答** 寄附者414人、89万2千円となっており、前年度と比較して約2倍の寄附金額を受けている。

**問** 返礼品目数、人気返礼品の状況は。

**答** 現在、返礼品目数は49品目で、人気返礼品上位3品は、レンコン2kg、チャイルドシート、味噌煮込みうどんとなっている。

新規に返礼品として、チャイルドシートを追加したことが、寄附額増額の要因だ。

**問** 寄附財源をどのように有効活用しているか。

令和2年度の計画は、総合計画に基づき、8つの用途から選択することができ、2年度は、「幼稚園・保育所等副食代補助事業（市単独分）」、「道の駅周辺整備事業」、「外国語指導助手委託事業」などに充当の予定だ。

**問** ふるさと納税をしてもらうため、リピーターを増やす工夫や消費者への心配りが必要だ。行政側、産品者側、運営サイト側などの企画調整は。

**答** 自治体情報の掲載や返礼品を使ったレシピ等の掲載を業者と調整し、可能であれば適宜追加していく。

## 市税等 滞納者の対応は

**問** 滞納者数は、17法人3534人、未納総額が1億5738万705円となっている。滞納者への徴収方法は。

**答** 納期限後20日以内に督促状を送付し、その後、徴収嘱託員による戸別訪問や納税催告の送付を行い、早期納付をお願いしている。

**問** 滞納機構の延長は。延長しない場合の対応は。

**答** 元年度末で終了する。今後は、機構を経験した職員が中心となり進めて行く。